



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 GMB(株)

コード番号 7214 URL <http://www.gmb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 松岡 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 金本 現一

TEL 0745-44-1911

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	17,043	10.2	317	△31.1	273	△37.4	69	△55.3
27年3月期第1四半期	15,459	15.6	460	22.1	435	△29.8	155	△40.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 40百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △330百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.36	—
27年3月期第1四半期	29.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	67,972	30,881	33.0	4,306.60
27年3月期	68,226	31,135	33.1	4,327.86

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 22,443百万円 27年3月期 22,554百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	34,600	9.3	800	△26.9	650	△28.9	200	△41.3
通期	71,000	9.5	1,850	15.7	1,550	2.0	500	37.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	5,212,440 株	27年3月期	5,212,440 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	1,029 株	27年3月期	1,029 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	5,211,411 株	27年3月期1Q	5,211,411 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
平成28年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済状況は、わが国においては、企業収益の改善や設備投資の増加がみられるなど、緩やかな回復傾向が続いております。海外においては、中国などの新興国における経済成長の鈍化や、欧州諸国の債務問題の再燃など、世界的な景気の不透明感が続いております。また、自動車業界においては、中国市場などの需要の減速感がみられるものの、世界規模では緩やかな拡大基調を継続しております。

このような環境の中、当社グループにおいては、中国や欧州拠点からの新車用部品の販売や、日本からの海外補修用部品の輸出などが増加しましたが、海外拠点の人件費などの固定費や日本における輸入コストの上昇の影響も受けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が17,043百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は317百万円（同31.1%減）となり、経常利益は273百万円（同37.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は69百万円（同55.3%減）となりました。

主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、東南アジアなど海外補修用部品市場におけるユニバーサルジョイントや中国の新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が増加したことなどにより、売上高は10,086百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

エンジン部品部門は、東南アジアなど海外補修用部品市場や欧州の新車用部品市場におけるウォーターポンプの販売が増加したことなどにより、売上高は4,010百万円（同5.9%増）となりました。

ベアリング部門は、海外補修用部品市場における取扱製品の拡大などにより、売上高は2,888百万円（同11.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当社は、製造、販売体制を基礎とした拠点の所在地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」、「中国」、「タイ」及び「欧州」の6つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、自動車部品を製造、販売しております。

#### ① 日本

海外補修用部品の輸出が増加したものの、固定費の高止まりや円安による輸入コストの上昇などの結果、売上高3,646百万円（前年同四半期比11.0%増）、セグメント損失69百万円（前年同四半期は104百万円の損失）となりました。

#### ② 米国

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.において補修用ウォーターポンプなど販売が減少したことなどの結果、売上高1,515百万円（前年同四半期比11.9%減）、セグメント損失115百万円（前年同四半期は37百万円の利益）となりました。

#### ③ 韓国

連結子会社のGMB KOREA CORP.において韓国自動車メーカーや系列部品メーカー向けにバルブスプールなどの新車用部品の販売が増加したことや、人件費などの固定費増加を調達コスト削減努力で吸収したことなどの結果、売上高10,658百万円（同10.2%増）、セグメント利益557百万円（同27.3%増）となりました。

#### ④ 中国

製造拠点である連結子会社3社及び調達・物流拠点の連結子会社1社において、中国新車用部品市場向けのバルブスプールの現地生産・販売が本格化したことなどの結果、売上高1,035百万円（同51.3%増）、セグメント利益42百万円（前年同四半期は28百万円の損失）となりました。

#### ⑤ タイ

タイ国内向けサスペンションの販売が増加しましたが、為替相場の悪影響などの結果、売上高123百万円（同10.5%増）、セグメント利益19百万円（同80.3%減）となりました。

#### ⑥ 欧州

前連結会計年度に設立した新拠点において、欧州の新車用部品市場向けのウォーターポンプの生産・販売が開始しましたが、本格稼働前でもあり、売上高98百万円、セグメント損失33百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が264百万円(前年同四半期比38.7%減)となるなど収入が減少し、たな卸資産の増加額が1,296百万円(同679.3%増)、有形固定資産の取得による支出が1,335百万円(同139.8%増)となるなどした結果、期末残高は1,850百万円減少して3,088百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は246百万円(前年同四半期比925.1%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が264百万円(同38.7%減)、たな卸資産の増加額が1,296百万円(同679.3%増)となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,415百万円(同122.4%増)となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が1,335百万円(同139.8%増)となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は153百万円(同132.9%増)となりました。これは主に、短期・長期借入金、社債、リースによる資金調達額が129百万円(同27.8%減)となったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の業績は概ね計画どおりに推移しており、前回決算発表時(平成27年5月8日)に公表しました業績予想についての変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ7,595千円増加しております。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が7,595千円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,270,106	4,511,154
受取手形及び売掛金	15,618,729	15,610,492
商品及び製品	5,445,034	6,246,693
仕掛品	5,036,634	5,478,358
原材料及び貯蔵品	3,341,950	3,355,354
未収還付法人税等	87,754	40,157
繰延税金資産	311,489	331,543
その他	1,259,831	1,526,257
貸倒引当金	△228,093	△218,556
流動資産合計	37,143,438	36,881,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,997,463	5,908,163
機械装置及び運搬具(純額)	13,169,635	13,711,296
土地	6,417,940	6,397,205
建設仮勘定	2,397,307	1,907,242
その他(純額)	659,374	726,531
有形固定資産合計	28,641,720	28,650,439
無形固定資産		
その他	421,460	411,749
無形固定資産合計	421,460	411,749
投資その他の資産		
投資有価証券	759,634	782,473
繰延税金資産	683,185	709,031
その他	764,926	724,988
貸倒引当金	△187,611	△187,420
投資その他の資産合計	2,020,135	2,029,073
固定資産合計	31,083,316	31,091,263
資産合計	68,226,754	67,972,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,812,022	7,782,538
短期借入金	10,266,657	10,562,362
1年内償還予定の社債	230,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	2,641,298	1,609,651
未払法人税等	299,090	363,891
繰延税金負債	599,383	581,887
賞与引当金	146,872	77,272
製品保証引当金	287,541	243,049
その他	3,171,146	3,142,976
流動負債合計	25,454,012	24,593,629
固定負債		
社債	—	1,200,030
長期借入金	7,808,673	7,430,870
繰延税金負債	43,858	31,910
退職給付に係る負債	3,040,072	3,040,373
役員退職慰労引当金	275,000	280,600
その他	469,908	513,437
固定負債合計	11,637,513	12,497,222
負債合計	37,091,526	37,090,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	838,598	838,598
資本剰余金	988,000	980,404
利益剰余金	17,525,478	17,490,856
自己株式	△2,022	△2,022
株主資本合計	19,350,054	19,307,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,693	44,915
為替換算調整勘定	3,121,398	3,048,111
退職給付に係る調整累計額	43,090	42,599
その他の包括利益累計額合計	3,204,182	3,135,626
非支配株主持分	8,580,991	8,438,403
純資産合計	31,135,228	30,881,867
負債純資産合計	68,226,754	67,972,718

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	15,459,479	17,043,646
売上原価	12,971,467	14,380,908
売上総利益	2,488,012	2,662,738
販売費及び一般管理費	2,027,320	2,345,104
営業利益	460,691	317,633
営業外収益		
受取利息	10,234	10,430
為替差益	—	52,988
貸倒引当金戻入額	66,449	2,416
製品保証引当金戻入額	—	24,470
持分法による投資利益	12,130	30,853
その他	27,276	55,040
営業外収益合計	116,090	176,199
営業外費用		
支払利息	90,940	117,744
手形売却損	16,942	9,360
為替差損	30,948	—
デリバティブ評価損	—	77,772
その他	2,062	15,886
営業外費用合計	140,894	220,764
経常利益	435,887	273,069
特別利益		
固定資産売却益	384	914
特別利益合計	384	914
特別損失		
固定資産売却損	2,559	4,187
固定資産除却損	1,574	5,017
特別損失合計	4,133	9,205
税金等調整前四半期純利益	432,137	264,777
法人税等	64,604	82,343
四半期純利益	367,533	182,434
非支配株主に帰属する四半期純利益	211,745	112,828
親会社株主に帰属する四半期純利益	155,787	69,605



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	367,533	182,434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,752	5,222
為替換算調整勘定	△697,234	△151,822
退職給付に係る調整額	130	△491
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,197	5,204
その他の包括利益合計	△697,549	△141,886
四半期包括利益	△330,016	40,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△282,877	1,050
非支配株主に係る四半期包括利益	△47,139	39,498

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	432,137	264,777
減価償却費	755,706	924,326
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58,223	△5,989
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△82,347	△69,599
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	136,206	28,420
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△14,264	△42,182
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,700	5,600
受取利息及び受取配当金	△11,454	△11,535
支払利息	90,940	117,744
為替差損益 (△は益)	137,930	38,326
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	77,772
有形固定資産除売却損益 (△は益)	3,749	8,291
持分法による投資損益 (△は益)	△12,130	△30,853
売上債権の増減額 (△は増加)	△343,789	△93,555
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△166,400	△1,296,730
仕入債務の増減額 (△は減少)	△518,656	27,036
その他	△16,332	△36,959
小計	338,772	△95,108
利息及び配当金の受取額	13,862	9,735
利息の支払額	△88,122	△113,047
法人税等の支払額	△288,551	△48,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,039	△246,421
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△167,515	△310,037
定期預金の払戻による収入	115,320	238,809
有形固定資産の取得による支出	△557,057	△1,335,720
有形固定資産の売却による収入	3,170	7,127
無形固定資産の取得による支出	△5,895	△24,210
投資有価証券の取得による支出	△52,472	—
投資有価証券の売却による収入	9,610	—
貸付金の回収による収入	16,797	9,671
その他	1,842	△780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△636,200	△1,415,140

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,303,100	6,749,147
短期借入金の返済による支出	△3,334,538	△6,423,443
長期借入れによる収入	583,183	74,389
長期借入金の返済による支出	△342,242	△1,428,866
社債の発行による収入	—	1,196,715
セール・アンド・リースバックによる収入	—	2,296
リース債務の返済による支出	△29,819	△40,418
配当金の支払額	△100,674	△93,270
非支配株主への配当金の支払額	△144,760	△189,681
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,751	△153,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	△169,449	△35,662
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△895,439	△1,850,356
現金及び現金同等物の期首残高	5,018,951	4,938,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,123,511	3,088,581

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	韓国	中国	タイ	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	3,284,532	1,720,679	9,668,210	684,605	111,749	-	15,469,778	△10,298	15,459,479
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	717,708	1,341	684,169	1,714,258	842,648	-	3,960,127	△3,960,127	-
計	4,002,240	1,722,021	10,352,380	2,398,864	954,398	-	19,429,905	△3,970,425	15,459,479
セグメント利益又は損失(△)	△104,191	37,894	438,211	△28,300	98,640	-	442,254	18,437	460,691

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△10,298千円は、内部売上高で消去できなかった取引差額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額18,437千円は、セグメント間取引消去29,351千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,914千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	韓国	中国	タイ	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1) 外部顧客への売上高	3,646,646	1,515,747	10,658,045	1,035,596	123,489	98,328	17,077,854	△34,208	17,043,646
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	777,201	1,934	1,347,098	2,042,137	912,161	-	5,080,534	△5,080,534	-
計	4,423,848	1,517,681	12,005,144	3,077,734	1,035,650	98,328	22,158,388	△5,114,742	17,043,646
セグメント利益又は損失(△)	△69,706	△115,788	557,750	42,129	19,394	△33,691	400,086	△82,452	317,633

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△34,208千円は、内部売上高で消去できなかった取引差額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,452千円は、セグメント間取引消去△44,324千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△38,127千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足情報

## 平成28年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

## (1) 連結業績概要

(単位：百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
売上高	15,459	16,208	15,743	17,451	17,043			
営業利益 (同利益率)	460 ( 3.0%)	633 ( 3.9%)	258 ( 1.6%)	246 ( 1.4%)	317 ( 1.9%)			
経常利益 (同利益率)	435 ( 2.8%)	478 ( 2.9%)	470 ( 3.0%)	134 ( 0.8%)	273 ( 1.6%)			
税引前四半期純利益 (同利益率)	432 ( 2.8%)	467 ( 2.9%)	464 ( 2.9%)	88 ( 0.5%)	264 ( 1.5%)			
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	155 ( 1.0%)	185 ( 1.1%)	171 ( 1.1%)	△147 ( △0.8%)	69 ( 0.4%)			

## (2) キャッシュ・フロー関連

(単位：百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
営業CF	△24	1,653	814	579	△246			
投資CF	△636	△1,534	△2,078	△2,152	△1,415			
財務CF	△65	1,418	1,144	558	△153			
設備投資額	680	1,796	1,755	2,458	1,089			
減価償却費	755	782	861	997	924			

## (3) 製品の品目分類別売上高

(単位：百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
駆動・伝達及び操縦装置部品	9,025	9,198	9,071	9,984	10,086			
エンジン部品	3,787	3,850	3,538	3,712	4,010			
ベアリング	2,587	3,111	3,088	3,610	2,888			
その他	59	47	44	143	57			
計	15,459	16,208	15,743	17,451	17,043			

## (4) セグメント別売上高 (外部顧客に対する売上高)

(単位：百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
日本	3,284	3,277	3,330	3,405	3,646			
米国	1,720	1,804	1,520	2,070	1,515			
韓国	9,668	10,312	10,054	10,938	10,658			
中国	684	710	769	965	1,035			
タイ	111	115	105	111	123			
欧州	-	-	-	0	98			
調整額	△10	△10	△36	△39	△34			
計	15,459	16,208	15,743	17,451	17,043			

## (5) セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	平成27年3月期				平成28年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
日本	△104	△71	△43	△107	△69			
米国	37	34	13	8	△115			
韓国	438	563	312	401	557			
中国	△28	95	2	18	42			
タイ	98	63	60	△12	19			
欧州	-	-	△25	△54	△33			
調整額	18	△51	△60	△8	△82			
計	460	633	258	246	317			